

特定非営利活動法人 サステナビリティ日本フォーラム 平成 30年 理事・評議員会、総会

■日時：平成 30 年 2 月 21 日(水) 17時30分～19時00分

■場所：NPO 法人アイ・エス・エル 千代田区紀尾井町 4-1 新紀尾井町ビル 5階

■在籍：2月 21日 現在

理事総数 17名 / 監事総数 1名 / 評議員総数 24名 (定足数:理事会 9名・評議員会 12名)

正会員数 86 団体 (企業 20 中間組織 8 CSO(NGO) 6 個人 52) (定足数: 28 名)

*定款第 40 条(49 条)より「理事会(評議員会)は、理事総数(評議員総数)の 2 分の 1 以上の出席をもって成立する」

*定款第 31 条より「総会は、正会員総数の 3 分の 1 以上の出席をもって成立する」

議事次第

1. 開会
2. 定足数の確認
3. 議長選出と議事録署名人選出
4. 審議事項
 - 第 1 号議案 総会決議事項(定款第 27 条) 平成 29 年度事業報告および決算
 - 第 2 号議案 理事会決議事項(定款第 36 条) 平成 30 年度事業計画(案)および予算
 - 第 3 号議案 総会決議事項(定款第 27 条) 定款変更
 - 第 4 号議案 評議員会決議事項(定款第 45 条) 理事の選任
 - 第 5 号議案 理事会決議事項(定款第 36 条) 評議員の選任
 - 第 6 号議案 理事会決議事項(定款第 66 条) 運営委員の選任
5. 閉会
 - ・ 資料 1 平成 29 年度事業報告および決算
 - ・ 資料 2 平成 30 年度事業計画(案)および予算
 - ・ 資料 3 定款変更
 - ・ 資料 4 役員一覧
 - ・ 資料 5 運営委員一覧
 - ・ 監査報告書

会場提供：



主催：

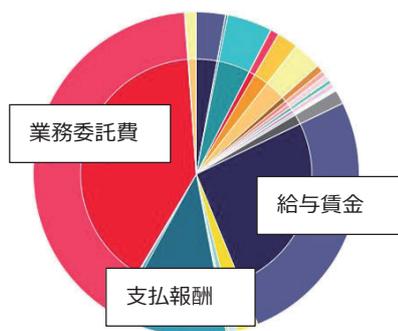
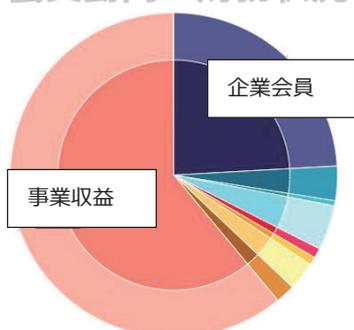


サステナビリティ日本フォーラム 平成 29 年度事業報告

(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)

2018.2

会員動向・財務状況



平成 29 年度収入：10,528,091 円

平成 29 年度支出：10,268,572 円

会員数は 103 (平成 29 年 12 月 31 日現在)。18 名の役員、24 名の評議員および 9 名の運営委員と専従職員は 1 名。平成 29 年度の入退会状況は、企業会員は 2 社入、2 社退 (±0)

事業概要

○:会員拡大含め一般向けにも開催 △:会員向けに開催 ※:新規取組み

対象者	サステナビリティに資する情報開示を促進し持続可能な社会を構築するためのプログラム		
	調査・研究	講座・座談会	レポート・発行物
CSR 部門担当者/サステナビリティ・CSR 志向の企業人/CSR の裾野を広げる取組みに関心を持つ人	-	○シリーズ勉強会 ○役員向け CSR 講座 △CSR 基礎講座 ○シンポジウム △役員懇談会	○GRI スタンド※ ○地球白書翻訳協力※ △シリーズ勉強会レポート △ウェブサイト・会員専用ページ運営 ○メールマガジン
サステナブルな社会構築・地域創生に関心を持つ人	-	-	-

事業部門

(1) 企業の CSR 活動を啓発・促進する事業

■...平成 29 年度新規取組み

シリーズ勉強会 全 3 回

開催	タイトル	講師	参加者数 (非会員)
9/19,10/6,11/20	GRI スタンド ードを読む会 全 3 回	日本労働組合総連合会 新谷信幸、アムネスティインター ナショナル 土井陽子、経済産業省 後藤慎平、IntegreX 秋 山をね	延べ 47 名 (18)

CSR 基礎講座

開催	タイトル	講師	参加者数 (非会員)
3/14,5/16,6/2, 7/18,9/5,11/21	CSR 担当者のための CSR 基礎講座 全 6 回	エコロジーパス 金澤厚	35 名 (18)
9/20,10/18,11/15	役員・部長(室長)のための CSR 基礎講座 全 1 回	Sus-FJ 後藤敏彦	6 名 (1)

研究会

開催	タイトル		参加者数 (非会員)
4/13,5/15, 6/5	2030年のワーク& ライフスタイル研究 会 全3回	AI(人工知能)ができることと社会課題を照らし合わせ、働き方の変革は社会の持続性を高めるという仮説に立ち、SDGsが達成された2030年のワーク&ライフスタイルについて議論	13名(-)
12/14	座談会「無意識の偏見を打破するには」	元UNEP大崎麻子、アパショナータ バク・スックチャ	9名(4)

ダイバーシティセミナー

開催	タイトル	講師	参加者数 (非会員)
5/25,6/3	進化するダイバーシティ 全2回	トロワ・クルール 増原裕子、インテル 野依靖司、アパショナータ バクスックチャ、ブルームバーグ 佐藤円裕	延べ30名(12)

シナリオプランニングワークショップ

開催	タイトル	講師	参加者数 (非会員)
7/27	シナリオプランニングワークショップ	ビジネスコンサルタント 川本芳裕	19名(10)

<運営協力>

オリンピック/パラリンピックに向けた持続可能な調達に対する関わり

開催	タイトル	
2/23	企業のためのシンポジウム SDGs「持続可能な生産消費」の具体化～五輪の調達を好機に！～	小池百合子東京都知事の発案によりサステナブル・ビジネス・ウィメンが主催。Sus-FJは協力団体として関与

低炭素セミナー

開催	タイトル	
3/9	平成28年度パリ協定を踏まえた企業行動促進セミナー	環境省主催。Sus-FJ 運営協力

(2) サステナビリティ社会構築に向けた調査・研究・支援事業

特になし。有志にて熊本地震の被害から復興を目指す山都町を訪問(3/12~14)

(3) サステナビリティ・レポートの国際標準をめざす GRI ガイドラインの普及・啓発事業

GRI スタンダード翻訳プロジェクト

実施	ピアレビューワー	スポンサー(順不同)
2016年 10/19 ~ 2017年 3/31	LRQA 富田秀実、 CSO ネットワーク 黒田かをり、Sus- FJ 後藤敏彦	クラン、PwC あらた有限責任監査法人、KPMG あずさサステナビリティ、パナソニック、日本たばこ産業、日本政策投資銀行、新日本有限責任監査法人、東京海上ホールディングス、YUIDEA、CSR 環境デザイン投資顧問、有限責任監査法人トーマツ、日本品質保証機構、サントリーホールディングス、SOMPO ホールディングス、アクセンチュア、三井物産、ANA ホールディングス、伊藤園

シンポジウム

開催	タイトル	講師	参加者数 (非会員)
4/19	'サステナビリティと情報開示の可能性'のその先へ	GPIF 小森博司、GRIBastianBack、LRQA 富田秀実 パネルディスカッション: CSO ネットワーク 黒田かをり、Sus-FJ 後藤敏彦、東京海上ホールディングス 長村政明、LRQA 富田秀実	参加者 264名 (131)

(4) サステナビリティ・レポートに関する研究を推進し、国内外へ提言・提案を行なう事業

- ・地球白書翻訳協力 ・ラギー・フレームワークを頒布
- ・業務委託ー環境マネジメントシステムに関わる翻訳

管理部門

- ・ウェブサイト（フェイスブックページ含）・会員専用ページの運営
- ・メールマガジンの配信：24回（うち会員メールマガジンが8回）
- ・役員懇談会（2回実施）

開催日	ゲストスピーチ（敬称略）	参加者数
1/6	GRIスタンダードプロジェクトの進捗 富田秀実	31名
8/3	企業、社会、構想力そして競争力 藤井敏彦	34名

その時々的重要なテーマについてゲストを呼び、各界のCSR分野でご活躍の理事・評議員が情報交換、意見交換をする場を提供。

- ・総会、理事・評議員会

開催日	総会、理事・評議員会	定足数	参加者数
2/21	第1号議案 総会決議事項 平成28年度事業報告および決算 第2号議案 理事会決議事項 平成29年度事業計画（案）および予算 第3号議案 評議員会決議事項 理事の選任 第4号議案 理事会決議事項 評議員の選任 第5号議案 理事会決議事項 運営委員の選任	総会 30名（1/3以上） 理事会 7名（1/2以上） 評議員会 13名（1/2以上） 参加者 42名	理事 8名（うち委任状出席2名）、評議員 17名（うち委任状出席9名）、会員 56名（うち委任状出席21名）

- ・認定NPO法人に向けた取組み

開催	タイトル		参加者数
11/30	チャリティーパーティー ～はじまって・つながり・かなえていく～	参加団体：キッズドア、山都プロジェクト（山都町棚田復興プロジェクト）、チャリティーサンタ	31名（24）

小規模事業者の特例で年間平均50名の寄付者（役員、社員除く）から3,000円/1口を募り、104名の方より寄付をいただいた。2016～2017年の2年間の実績判定期間での内容で2018年3月に申請書を東京都に提出する。

- ・インターン受入れ

以上

平成29年度 活動計算書

平成29年 1月 1日から 平成29年12月31日まで

特定非営利活動法人 サステナビリティ日本フォーラム

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費		
団体会員		
企業	2,450,000	2,450,000
中立組織	350,000	350,000
CSO (NGO)	50,000	50,000
個人会員	455,000	455,000
正会員受取会費計		3,305,000
賛助会員受取会費		
団体会員	100,000	100,000
個人会員	80,000	80,000
賛助会員受取会費計		180,000
2 受取寄附金	288,000	288,000
3 受取助成金等		
受取助成金	195,000	195,000
4 事業収益		
(1) 企業のCSR活動を啓発・促進する事業収益	342,608	342,608
(2) サステナビリティ社会構築に向けた調査・研究・支援事業収益	0	0
(3) サステナビリティ・レポートの国際標準をめざすGRIガイドラインの普及・啓発事業収益	4,330,000	4,330,000
(4) サステナビリティ・レポートに関する研究を推進し、国内外へ提言・提案を行う事業収益	1,523,957	1,523,957
(5) その他	0	0
5 その他収益		
受取利息	26	26
雑収(懇談会費)	363,500	363,500
経常収益計		10,528,091
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	2,792,250	2,792,250
退職給付費用	0	0
福利厚生費	0	0
人件費計		2,792,250
(2) その他経費		
売上原価	0	0
会議費	34,629	34,629
旅費交通費	19,790	19,790
通信運搬費	1,070	1,070

	消耗備品費	72,000		72,000
	印刷製本費	106,659		106,659
	研修図書費	17,630		17,630
	交際費	0		0
	諸謝金	1,086,377		1,086,377
	諸会費	0		0
	支払手数料	7,738		7,738
	業務委託費	3,994,150		3,994,150
	雑費（懇談会費）	63,380		63,380
	その他経費計		5,403,423	5,403,423
	事業費計		8,195,673	8,195,673
2	管理費			
	(1)人件費			
	給料手当	310,251		310,251
	退職給付費用	0		0
	法定福利費	439,312		439,312
	福利厚生費	3,243		3,243
	人件費計		752,806	752,806
	(2)その他経費			
	会議費	83,260		83,260
	旅費交通費	206,416		206,416
	通信運搬費	281,906		281,906
	消耗備品費	69,358		69,358
	減価償却費	51,314		51,314
	印刷製本費	56,628		56,628
	研修図書費	1,116		1,116
	交際費	12,420		12,420
	諸謝金	32,275		32,275
	諸会費	10,000		10,000
	保険料	42,980		42,980
	支払手数料	35,859		35,859
	租税公課	0		0
	業務委託費	138,341		138,341
	雑費（懇談会費）	298,220		298,220
	その他経費計		1,320,093	1,320,093
	管理費計		2,072,899	2,072,899
	経常費用計		10,268,572	10,268,572
	当期経常増減額		259,519	259,519
III	経常外収益			
	経常外収益計		0	0
IV	経常外費用			
	棚卸資産減少額	0		0
	経常外費用計		0	0
	経理区分振替額	0	0	0
	税引前当期正味財産増減額	0	259,519	259,519
	法人税、住民税及び事業税	0	0	0
	当期正味財産増減額	0	259,519	259,519
	前期繰越正味財産額			1,102,330
	次期繰越正味財産額			1,361,849

平成29年度 財産目録

平成29年12月31日現在

特定非営利活動法人サステナビリティ日本フォーラム

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
手元現金	0	
三井住友銀行赤坂支店 普通預金	596,927	
三菱東京UFJ銀行目黒支店 普通預金	1,278,532	
ゆうちょ銀行 〇一九支店 普通預金	182,045	
未収金	0	
棚卸資産	0	
流動資産合計		2,057,504
2 固定資産		
(1)有形固定資産		
什器備品 パーソナルコンピュータ	126,674	
有形固定資産計	126,674	
(2)無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3)投資その他の資産計		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		126,674
資産合計		2,184,178
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金		
ライフカード	18,379	
前受会費		
平成30年度会費	715,000	
預り金		
源泉税他	88,950	
流動負債合計		822,329
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		822,329
正味財産		1,361,849

平成29年度 貸借対照表

平成29年12月31日現在

特定非営利活動法人サステナビリティ日本フォーラム

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	2,057,504	
棚卸資産	0	
未収入金	0	
流動資産合計		2,057,504
2 固定資産		
(1)有形固定資産		
什器備品	126,674	
有形固定資産計	126,674	
(2)無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3)投資その他の資産		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		126,674
資産合計		2,184,178
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	18,379	
前受会費	715,000	
預り金	88,950	
流動負債合計		822,329
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		822,329
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	1,102,330	
当期正味財産増減額	259,519	
正味財産合計		1,361,849
負債及び正味財産合計		2,184,178

サステナビリティ日本フォーラム 平成 30 年度事業計画

(平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)

2018.1

事業の方針 ○:会員拡大含め一般向けにも開催 △:会員向けに開催 ※:新規取組み

対象者	サステナビリティに資する情報開示を促進し持続可能な社会を構築するためのプログラム		
	調査・研究	講座・座談会	レポート・発行物
CSR 部門担当者/ サステナビリティ・CSR 志向の企業人/ CSR の裾野を広げる取組 みに関心を持つ人	-	○シリーズ勉強会 △役員向け CSR 講座 △CSR 基礎講座 ○シンポジウム △役員懇談会	○GRI スタンダード ○ラギー・フレームワーク △シリーズ勉強会レポート △ウェブサイト・会員専用ページ 運営 ○メールマガジン
サステナブルな社会構築・地域創 生に関心を持つ人	-	-	

事業部門

(1) 企業の CSR 活動を啓発・促進する事業

■…平成 30 年度新規取組み

シンポジウム「ESG 投資の台頭、企業に求められるシナリオプランニング/シナリオ分析」

開催	講師（敬称略）	内容
2/1	高崎経済大学 水口剛、東京大学 角和 昌浩、三菱 UFJ モルガン・スタンレー 証券 吉高まり、Sus-FJ 後藤敏彦	FSB（金融安定理事会）が気候変動について提起したこと の影響の大きさ、ESG 投資の呼び込みにシナリオプラン ニング/分析が大切になってくることをお伝えしたい

CSR 基礎講座

開催	タイトル	講師
3/22,4/24,6/12, 7/10,9/11,11/13	CSR 担当者のための CSR 基礎講座 全 6 回	エコロジーパス 金澤厚
冬	役員・部長（室長）のための CSR 基礎講座 全 1 回	Sus-FJ 後藤敏彦

研究会

開催	タイトル	内容
3/6	座談会「無意識の偏見を打破するには」 (昨年度の結果をもとに開催)	元 UNEP 大崎麻子、 アパショナータ パク・スックチャ

<協力等>

関連団体との協力を体系的に図っていく

(2) サステナビリティ社会構築に向けた調査・研究・支援事業

特になし。有志にてエコツアーを実施

(3) サステナビリティ・レポートの国際標準をめざす GRI ガイドラインの普及・啓発事業

シリーズ勉強会 全 2 回

開催	タイトル	内容
7 月以降	GRI スタンダードセミナー	開示セクターが多様化する中、さまざまな開示や評価が GRI を参照していること、GRI が onestop となっている現状を企 業の担当者に伝える勉強会を全 2 回ほど計画したい

(4) サステナビリティ・レポートに関する研究を推進し、国内外へ提言・提案を行なう事業
引き続きラギー・フレームワークの頒布を行っていく

管理部門

- ・ウェブサイト（フェイスブックページ含）・会員専用ページの運営
- ・メールマガジンの配信 ・役員懇談会（2回実施）

開催日	ゲストスピーチ（敬称略）	参加予定
1/12	社外取締役としての役割と所感 森永製菓 宮井真千子	20名
8月	検討中	

その時々的重要なテーマについてゲストを呼び、各界のCSR分野でご活躍の理事・評議員が情報交換、意見交換をする場を提供。

- ・総会、理事・評議員会

開催日	総会、理事・評議員会	定足数
2/21	第1号議案 総会決議事項 平成29年度事業報告および決算 第2号議案 理事会決議事項 平成30年度事業計画（案）および予算 第3号議案 評議員会決議事項 理事の選任 第4号議案 理事会決議事項 評議員の選任 第5号議案 総会決議事項 定款の変更	総会 1/3以上 理事会 1/2以上 評議員会 1/2以上

- ・認定NPO法人に向けた取組み

3月に認定NPO取得のための申請書を東京都に提出

以上

平成 30 年度 活動予算書
平成 30 年 1 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日まで
特定非営利活動法人 サステナビリティ日本フォーラム

収入の部

(単位：円)

科 目	平成 29 年度予算		平成 29 年度決算		平成 30 年度予算	
1 会費収入						
企業	2,600,000		2,450,000		2,300,000	
中間組織	400,000		350,000		400,000	
CSO (NGO)	40,000		50,000		50,000	
個人会員	460,000		455,000		550,000	
賛助会員						
個人会員	200,000		100,000		100,000	
団体会員	80,000		80,000		100,000	
		3,780,000		3,485,000		3,500,000
2 事業収入						
企業の CSR 活動を啓発・促進する事業	260,000		342,608		300,000	
サステナビリティ社会構築に向けた調査・研究・支援事業	0		0		0	
サステナビリティ・レポートの国際標準をめざす GRI ガイドラインの普及・啓発事業	3,800,000		4,330,000		36,000	
サステナビリティ・レポートに関する研究を推進し、国内外へ提言・提案を行う事業	0		1,523,957		0	
その他関連事業	0		0		0	
		4,060,000		6,196,565		336,000
3 寄付金収入						
助成金収入	160,000		195,000		0	
受取寄付金	40,000	200,000	288,000	483,000	120,000	120,000
4 雑収入						
受取利息			26			
雑収 (懇談会費)			363,500	363,526	300,000	300,000
経常収入合計		8,040,000		10,528,091		4,256,000

支出の部

科 目	平成 29 年度予算		平成 29 年度決算		平成 30 年度予算	
1 事業費						
企業の CSR 活動を啓発・促進する事業	270,000		191,905		120,000	
サステナビリティ社会構築に向けた調査・研究・支援事業	0		0		0	
サステナビリティ・レポートの国際標準をめざす GRI ガイドラインの普及・啓発事業	3,550,000		3,955,661		20,000	
サステナビリティ・レポートに関する研究を推進し、国内外へ提言・提案を行う事業	0		894,883		20,000	

給与手当	2,587,000		2,792,250		2,500,000	
業務委託費	329,000		360,974		285,000	
		6,736,000		8,195,673		2,945,000
2 管理費						
給料手当	300,000		310,251		300,000	
法定福利費	460,000		439,312		450,000	
福利厚生費	10,000		3,243		10,000	
通信荷送費	128,000		281,906		205,000	
旅費交通費	140,000		206,416		100,000	
減価償却費	33,000		51,314		80,000	
広告宣伝費	0		0		0	
会議費	5,000		83,260		20,000	
事務用消耗品費	10,000		69,358		10,000	
新聞図書費	5,000		1,116		0	
印刷経費	36,000		56,628		36,000	
租税公課	0		0		0	
諸会費	15,000		10,000		10,000	
支払手数料	16,000		35,859		30,000	
業務委託費	141,000		138,341		120,000	
交際費	5,000		12,420		10,000	
諸謝金	0		32,275		20,000	
保険料	0		42,980		0	
雑費（懇談会費）	0	1,304,000	298,220	2,072,899	300,000	1,701,000
経常支出合計		8,040,000		10,268,572		4,646,000
経常収支差額		0		259,519		△390,000

特定非営利活動法人 サステナビリティ日本フォーラム 定款

新旧対照表

新	旧
<p>(事業)</p> <p>第5条 本会は第3条の目的を実現するために、次の特定非営利活動に係る事業を行う。</p> <p>(1) <u>企業のCSR活動を啓発・促進する事業</u></p> <p>(2) <u>サステナビリティ社会構築に向けた調査・研究・支援事業</u></p> <p>(3) サステナビリティ・レポートの国際標準をめざす <u>GRI スタンドアードの普及・啓発事業</u></p> <p>(4) サステナビリティ・レポートに関する研究を推進し、国内外へ提言・提案を行う事業</p> <p>(5) その他関連事業</p>	<p>(事業)</p> <p>第5条 本会は第3条の目的を実現するために、次の特定非営利活動に係る事業を行う。</p> <p>(1) サステナビリティ社会構築に向けた調査・研究・支援事業</p> <p>(2) 企業のCSR活動を啓発・促進する事業</p> <p>(3) サステナビリティ・レポートの国際標準をめざす GRI ガイドラインの普及・啓発事業</p> <p>(4) サステナビリティ・レポートに関する研究を推進し、国内外へ提言・提案を行う事業</p> <p>(5) その他関連事業</p>
<p>(役職者)</p> <p>第24条 本会に役職者を置くことができる。</p> <p>2 役職者とは、会長、<u>副会長</u>、相談役および顧問をいう。</p> <p>3 会長は、理事会の推薦により、代表理事が理事の中から選定した者に委嘱する。</p> <p>4 <u>副会長は、理事会の推薦により、代表理事が理事の中から選定した者に委嘱する。</u></p> <p>5 相談役は、理事会の推薦により、代表理事が理事経験者である正会員または賛助会員に委嘱する。</p> <p>6 顧問は、理事会の推薦により、代表理事が委嘱する。</p> <p>7 会長は、本会の運営に関して助言を行うことができる。</p> <p>8 <u>副会長は、会長を補佐し、本会の運営に関して助言を行うことができる。</u></p> <p>9 相談役および顧問は、本会の運営に関して代表理事の諮問に応じ助言を行い、または理事会の要請に応じて理事会に出席して意見を述べることができる。</p> <p>10 会長、<u>副会長</u>、相談役および顧問の任期については、第15条第1項の規定を準用する。</p>	<p>(役職者)</p> <p>第24条 本会に役職者を置くことができる。</p> <p>2 役職者とは、会長、相談役および顧問をいう。</p> <p>3 会長は、理事会の推薦により、代表理事が理事の中から選定した者に委嘱する。</p> <p>4 相談役は、理事会の推薦により、代表理事が理事経験者である正会員または賛助会員に委嘱する。</p> <p>5 顧問は、理事会の推薦により、代表理事が委嘱する。</p> <p>6 会長は、本会の運営に関して助言を行うことができる。</p> <p>7 相談役および顧問は、本会の運営に関して代表理事の諮問に応じ助言を行い、または理事会の要請に応じて理事会に出席して意見を述べることができる。</p> <p>8 会長、相談役および顧問の任期については、第15条第1項の規定を準用する。</p>

【第 11 章 公告の方法】

第 68 条 本会の公告は、本会の掲示場に掲示するとともに官報に掲載して行う。ただし、法第 28 条の 2 第 1 項に規定する貸借対照表の公告については、この法人のホームページにおいて行う。

【第 11 章 公告の方法】

第 68 条 本会の公告は、本会の掲示場に掲示するとともに官報に掲載して行う。

役員選任

資料4

特定非営利活動法人 サステナビリティ日本フォーラム

新任 (任期：平成30年3月17日～平成31年3月16日)

役職	氏名(各50音順・敬称略)	所属	報酬	備考
理事	南部 美智代	日本労働組合総連合会	無	新・非常勤
評議員	田瀬 和夫	SDGパートナーズ	無	新・非常勤
評議員	山田 善樹	パナソニック株式会社	無	新・非常勤

現在の理事・評議員・監事

役職	氏名(各50音順・敬称略)	所属	報酬	備考
理事	稲岡 稔	ブルーリッジ・アストリアス・インスティテュートLLC	無	非常勤
理事	牛島 慶一	新日本有限責任監査法人	無	非常勤
理事	大石 美奈子	日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会	無	非常勤
理事	加藤 三郎	NPO法人環境文明21	無	非常勤
理事	上妻 義直	上智大学	無	非常勤
理事	木内 孝	NPO法人フューチャー500	無	会長・非常勤
理事	後藤 敏彦	環境監査研究会	無	代表理事・非常勤
理事	笹谷 秀光	株式会社伊藤園	無	非常勤
理事	鈴木 均	株式会社国際社会経済研究所	無	非常勤
理事	竹本 徳子	立教大学	無	非常勤
理事	タニグチ 直子	株式会社SUBARU	無	非常勤
理事	谷口 正次	資源・環境戦略設計事務所	無	非常勤
理事	富田 秀実	ロイドレジスタージャパン株式会社	無	非常勤
理事	中山 泰男	セコム株式会社	無	非常勤
理事	宮井 真千子	森永製菓株式会社	無	非常勤
理事	吉江 則子	富士ゼロックス株式会社	無	非常勤
監事	魚住 隆太	魚住サステナビリティ研究所	無	非常勤
評議員	足立 直樹	株式会社レスポンスアビリティ	無	非常勤
評議員	織田 創樹	ワールドウォッチ研究所	無	非常勤
評議員	加藤 浩輝	味の素株式会社	無	非常勤
評議員	金丸 治子	イオン株式会社	無	非常勤
評議員	金山 亮	デロイトトーマツ合同会社	無	非常勤

評議員	河口 真理子	株式会社大和総研	無	非常勤
評議員	倉阪 秀史	千葉大学大学院	無	非常勤
評議員	栗林 美紀	文部科学省科学技術・学術政策研究所	無	非常勤
評議員	黒瀬 友佳子	帝人株式会社	無	非常勤
評議員	國部 克彦	神戸大学大学院	無	非常勤
評議員	坂本 有希	一般財団法人地球・人間環境フォーラム	無	非常勤
評議員	佐藤 方俊	一般社団法人日本監督士協会	無	非常勤
評議員	島本 珠生	株式会社資生堂	無	非常勤
評議員	菅 慶太郎	日産自動車株式会社	無	非常勤
評議員	竹内 光男	NPO法人ゼリ・ジャパン	無	非常勤
評議員	竹ヶ原 啓介	株式会社日本政策投資銀行	無	非常勤
評議員	寺中 誠	東京経済大学	無	非常勤
評議員	富岡 正樹	サントリーホールディングス株式会社	無	非常勤
評議員	パク・スックチャ	アパシヨナータ, Inc.	無	非常勤
評議員	藤野 純一	公益財団法人地球環境戦略研究機関	無	非常勤
評議員	船越 義武	KPMGあずさサステナビリティ株式会社	無	非常勤
評議員	水口 剛	高崎経済大学	無	非常勤
評議員	三橋 優隆	PwCサステナビリティ合同会社	無	非常勤

退 任

役職	氏 名 (各50音 順・敬称略)	所 属	報酬	備 考
理事	新谷 信幸	日本労働組合総連合会	無	非常勤
評議員	名倉 誠	パナソニック株式会社	無	非常勤

※個人が所属する組織が会員とは限りません。

運 営 委 員 選 任

特定非営利活動法人 サステビリティ日本フォーラム

新 任

役職	氏 名 (各50音 順・敬称略)	所 属	報酬	備 考
運営委員	福田 亮子	会社員	無	新
運営委員	水谷 大	会社員	無	新
運営委員	山田 裕二	株式会社ビジネスコンサルタント	無	新

現在の運営委員

役職	氏 名 (各50音 順・敬称略)	所 属	報酬	備 考
運営委員	上野 和暉	会社員	無	
運営委員	小澤 立樹	株式会社セブン&アイホールディングス	無	
運営委員	櫻田 彩子	フリーアナウンサー	無	
運営委員	橘 美奈子	セコム株式会社	無	
運営委員	田原 英俊	PwCサステナビリティ合同会社	無	
運営委員	町田 寛典	株式会社クレアン	無	
運営委員	松尾 敏行	日本経済大学	無	
運営委員	望月 裕太	会社員	無	
運営委員	森 哲郎	しあわせ創研	無	

個人が所属する組織が会員とは限りません※

監査報告書

サステナビリティ日本フォーラム 御中

平成 30 年 1 月 19 日

サステナビリティ日本フォーラム 監事

魚位隆太 

私は、特定非営利活動法人サステナビリティ日本フォーラムの平成 29 年 1 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日までの会計年度における会計及び業務について監査を行い、以下の通り報告します。

1. 平成 29 年度活動計算書及び貸借対照表並びに財産目録は会計帳簿と一致し、特定非営利活動法人サステナビリティ日本フォーラムの財政状態及び収支の状況を正しく示しているものと認める。
2. 平成 29 年度事業活動報告書記載内容は、監査した範囲で真実を示しているものと認める。
3. 理事の職務執行に関する不正事項、及び法令・定款に違反する事項は認められなかった。

以上

懇親会会場のご案内

会場 東京都千代田区紀尾井町 1-3 東京ガーデンテラス紀尾井町 2F
ウォーターグリルキッチン

TEL : 03-3556-6220

19時30分～

会費制 : お一人 5,000 円 (消費税 料理 飲み物込み)



Join US ! サステナビリティ日本フォーラム 入会に関して

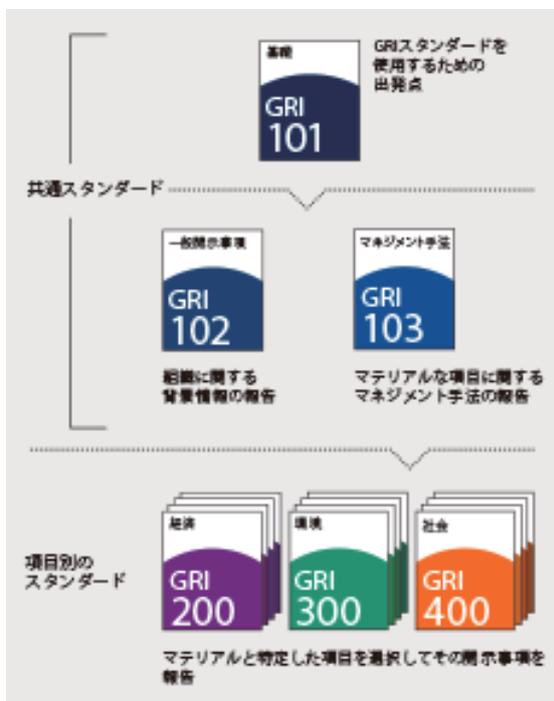
サステナビリティ日本フォーラムでは、持続可能な社会の構築や CSR（企業の社会責任）の推進・普及・啓発のための活動をわたしたちと一緒に進めて頂ける皆様の入会を受け付けております。

GRI スタンダードをワンストップとした持続可能な社会構築に向けた情報開示のあり方について深掘し、活動を支援くださる会員の皆様に募集しております。



会員の皆様が閲覧可能な会員サイトでは、過去の勉強会の資料等を公開しておりますので、最新の CSR 分野に関する理解にお役立てください。本シンポジウムの講演資料も講演者のご好意により公表できる場合のみ後日、会員サイトに掲載いたします。

2017年に GRI スタンダード日本語版も発行され、多くの皆様とコミュニケーションを図り、持続可能な社会に寄与する情報開示のあり方について議論することが叶いましたら幸いです。



サステナビリティ日本フォーラム 会員サイト

セミナー資料 | データアーカイブ | ログアウト | 会員サイトについて | サステナビリティ日本フォーラムのサイトへ戻る

セミナー資料
データアーカイブ
ログアウト
会員サイトについて
サステナビリティ日本フォーラムのサイトへ戻る

2017年

- 2月21日 総会、理事、評議員会 (報告ページ)
- 4月13日 第1回「2030年のワーク&ライフスタイル研究会」サステナビリティ日本フォーラム事務局 (【資料】(1.25MB))、サステナビリティ日本フォーラム 代表理事 後藤 彦 (【資料】(0.66MB))
- 4月19日 GRIスタンダード国際会議目録シンポジウム2017「サステナビリティと情報開示の両立に向けた歩み」講師: 中央独立行政法人公営企業局 次長 高木 伸一 (【資料】(0.22MB))、GRI Standard division Director BastianBuck氏 (【資料】(1.19MB))、ロイドレジスター・ジャパン株式会社 取締役事業開発部長 高田秀実氏 (【資料】(0.17MB))、東京海上ホールディングス株式会社 経営企画部 CSR部長 奥村政明氏 (【資料】(0.42MB))、サステナビリティ日本フォーラム 代表理事 後藤彦氏 (【資料】(0.31MB))、アンケート結果 (【資料】(0.21MB))、GRIスタンダード国際プロジェクト報告(0.48MB)
- 5月25日 シリーズセミナー (全2回) 「進化するダイバーシティ」第1回 新卒採用のダイバーシティ 講師: インテル株式会社 技術開発・製造技術本部 リソグラフィ開発部 中野 信昭部長 サプライチェーンマネージメント担当 プログラム マネージャー 杉本 真司氏 (【資料】(0.33MB))、株式会社トコワ・クルール 代表取締役 増原裕子氏 (【資料】(1.08MB))
- 6月30日 シリーズセミナー (全2回) 「進化するダイバーシティ」第2回 新卒採用の進捗が企業文化をどう変えるか 講師: フルム(パーソナル ESG)代表取締役 佐藤 大輔氏 (【資料】(0.72MB))、アパシオナータnc 代表 パウ・スックチャ氏
- 9月19日 GRIスタンダード発表会 (全3回) 第1回「労働慣行・ディーセントワーク」講師: 日本労働組合総連合会 副事務局長 新谷 悠氏 (【資料】(3.09MB))



詳しくはウェブサイトをご確認ください
<http://www.sustainability-fj.org/>